


図書館だより

目次

| | | | |
|------------------------------|----------|---|------------------------------------------------------------------------------------|
| 新図書館の起工式に当たって | ——白杵 陽 | 1 |  |
| 書籍が生まれたきっかけ——「社会に貢献する」という生き方 | | | |
| 日本女子大学と災害支援 | ——平田 京子 | 2 | |
| 日本女子大学図書館における分類法の切替 | | | |
| ——日本十進分類法 (NDC) 新訂10版の適用—— | ——鈴木 学 | 3 | |
| うさぎに託した想い | ——原田 百合枝 | 4 | |
| 新図書館棟新築工事 起工式催行される | | 5 | |
| 図書館今昔物語 その1 | ——浜口 都紀 | 5 | |
| 協定大学図書館訪問記 その4 跡見学園女子大学新座図書館 | | | |
| | ——吉原 三紀子 | 6 | |
| 2016 (平成28) 年度上代タノ平和文庫購入資料紹介 | | 7 | |
| 平成29年度夏期スクーリング閉館について | ——中澤 恵子 | 8 | キンモクセイの花と図書館 (目白) |

新図書館の起工式に当たって

白杵 陽

さる10月5日、目白キャンパスの新図書館の起工式が幼稚園地区の建設予定地において行われた。設計者の妹島和世氏をはじめとする妹島設計事務所、施工者の清水建設の関係者などの参加を得て、地鎮祭が厳かに執り行われたのである。今後、1年半をかけて建設は行われることになる。

新図書館の建設は、新たな出発に向けて、本学の創立120周年記念事業 (Vision 120) の端緒を飾るにふさわしいものであった。旧図書館が1964年6月23日に開館して半世紀以上を経過しているため、すでに老朽化といってもいい状況であった。

図書館をはじめとする公共施設の起工式は世界のどこを見渡しても厳粛な雰囲気の中で挙行される。むろん、イスラム世界もその例外ではない。さて、イスラム世界の建築家といえば、その代表的な建築家は、なんといってもオスマン帝国初期の時代を生きたミナール・スイナン (1494年あるいは1499年～1588年) であろう。日本ではあまり知られていなかったが、夢枕獏『シナン』 (中央公論新社, 2004年: 中公文庫, 上下巻, 2007年) という小説の刊行によって人口に膾炙したというべきだろうか。日本人読者向けのストーリー展開は、宮廷建築家スイナンの生涯ばかりでなく、16世紀を生きたオスマン帝国スルタン、壮麗王スレイマン大帝とその妃ロクセラーナの関係を中心に、王宮のハーレムの様子までも垣間見ることができものである。

この建築家スイナンは、オスマン帝国独特のモスクの建築様式を完成させたことでも知られている。代表的なモスクとしては帝都イスタンブルを象徴するスレイマニエ・モスクである。この帝都の旧市街の高台にそびえ、50メートルを超える大ドームを中心に小ドーム群と4本のミナレット (尖塔) で構成される。のみならず、周辺には宗教学校、食堂、宿泊所、病院、浴場、商業施設なども付設されているイスラム的な意味での総合複合施設である。世界歴史遺産にも登録され、この帝都を象徴する建造物として観光案内の写真にも頻繁に登場するので、あの壮大なモスクか、と思いつけることのできる人もおそらく多いことであろう。東京の代々木にあるモスク、東京ジャーミーも、トルコ政府の援助によって建設されたため、トルコ的な様式が取り入れられている。

イスラムのモスクは礼拝施設としての機能だけではなく、学びの場としての機能ももっている。モスクはアラビア語の「マスジド」が訛ったものであるが、もともとの意味はアッラーの前で「ひれ伏す場所」の意味である。モスクのもう一つのアラビア語起源の表現として、先ほど挙げた「ジャーミー」があり、これはアラビア語で「集合する」の意味である。モスクは集団礼拝時以外には学習の場としても機能するのである。もちろん、礼拝を先導するモスク付きのイマーム (導師) を先生にしてイスラム関係の学習が中心となる。と同時に、モスクはイスラム関係の書籍や資料を集めて、人々が利用することのできる「図書館」の役割をも果たしているのである。

現在、図書館はラーニング・コモンズを含めて新たな課題を抱え、どのように図書館を機能的に活用できるかが問われている。モスクは歴史的に見て、人々が集う場所として、礼拝と学習の両機能を果たしてきたが、情報提供の場としてのモスクの機能を改めて見直すのも、「意外性」という観点から興味が尽きないと私自身は考えている。

(図書館長・史学科教授)

書籍が生まれたきっかけ —「社会に貢献する」という生き方 日本女子大学と災害支援

平田 京子

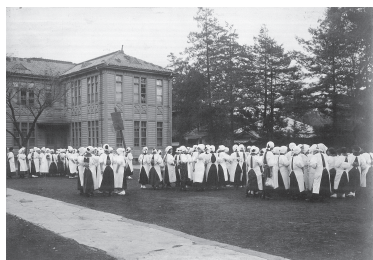
「あなたの受けた教育はあなただけのものではない、社会に還元するためのものなのです」、これはどうしてもこの本の帯として入れたかった、読者の皆さんに最も伝えたい言葉である。皆さんは、どのようにこの言葉を受け止めたであろうか。

動画が氾濫する現代社会であっても、的を射た言葉はいつまでも人々の心に刻まれる、そんな思いを新たにした名言である。この言葉は、昔、第6代学長上代タノが大学生に語ったものであった。卒業生の古川紀美子さん（新12回家政理学）達の心に生涯消えることなく刻まれていた。

熊本地震で被災した卒業生の被災経験を聞くために熊本にうかがった際に、私はこの言葉を教えてもらった。古川さんは熊本支部とともに東日本大震災の被災地のため大規模なチャリティコンサートを実施した凄腕の実践者であり、この言葉を胸に刻み、活動した希有な人である。すでに70歳を越えておられるが、輝いて見えた。

その時、私は日本女子大学の卒業生と在校生、大学本体が行った災害後の支援活動本をまとめるために調査を続けながら、本書を貫くキーワードを求めていた。それまで受けた教育、大学教育を活かした災害支援活動を通して自己実現を図るこれからのすべての年代の人々に、この言葉がきくと響くだろう、本書を貫くキーワードにしようと思った。そこでまずは帯原稿を作って出版社に掛け合い、本書が生まれることになった。

執筆には全学部から構成された各教員、元学長、桜楓会元理事、名誉教授、資料や写真面で成瀬記念館などが協力して当たった。創立者のめざした社会貢献、卒業生の活躍、特に東日本大震災での本学の卒業生が行ったたくさんの支援活動。最も新しい熊本地震を経験しての思いにどう応えるか。大学生が迷いながらも実践した支援活動、それらをインタビューや調査から読者へのメッセージとして書き起こしたものである。



被災地帯調査に出かける前の女子学生
(1923年関東大震災)

実は、支援活動を実践した在學生や卒業生、特に桜楓会が果たした役割は、関東大震災当時から抜きん出たものであった。参政権すらなかった若い女性達が、だれも行わなかったことを次々と成し遂げ、震災後も東京の行政に引き継がれた優秀な事業を実施していったのだ。日頃から行われていた桜楓会と桜楓新報の発行活動がこれらを結んだ。桜楓会が単なる卒業生組織ではなく、社会で自立し社会貢献できる組織を！という創立者成瀬仁蔵の理念が反映されていた。第2代校長麻生正蔵の熱意と危機管理の巧みさ、渋沢栄一の影響もあった。詳しくは本書を読んでほしい。

災害が頻発する日本、そして世界。次はあなたが災害後の支援活動を、社会貢献をする番なのではないだろうか。それらの活動を通じて、豊かな自己をつくりあげていくこと、他を大切にすることで自己を輝かせること、それは私達に向けて、成瀬仁蔵が教育を通して伝えたかったことである。本書は若い人々に読んでもらえるようルビをふり、高校生でも読めるように構成されている。あなたは本の帯の言葉にどう応えてくれるだろうか。信念を徹底し、自ら創り上げ、協働する、これらを通じてどのような一生を送っていこうとするのか。

この書籍と連動して開催中の成瀬記念館での日本女子大学と災害支援展もぜひ見てもらいたい。そして、生涯をどのように送るか、デザインしてほしいのである。 (住居学科教授)

2017年5月発行 ドメス出版 351頁 *目白・西生田所蔵 請求記号377.28-Nih



日本女子大学図書館における分類法の切替 —日本十進分類法 (NDC) 新訂10版の適用—

鈴木 学

日本十進分類法 (NDC) 新訂10版について

「日本十進分類法」は、1929年に初版を刊行してから改訂を重ねて、2014年末に新訂10版が刊行された。種類を問わず現在の日本国内のほとんどの図書館で使われている図書分類法が「日本十進分類法 (以下 NDC)」である。図書分類法とは、ある図書の中心的な内容である主題を記号で提示するための規則であり、NDC はその一つである。

NDC では世の中の知識全体を大きく10のクラスに分け、近現代の多様な学問分野が配置されている。そして各学問分野の下ではさまざまな関連主題が体系的に展開され、ふさわしい位置に配置されている。ちなみに、NDC では改訂版を新訂と表記している。

分類法は新しい方が良い

日本女子大学図書館では、和図書 (日本語、韓国語、中国語の図書) に対して1978年に刊行された NDC 新訂 8 版を使用し分類記号を付与してきた。このたび新訂10版が刊行されたことを機に新訂 8 版の継続について検討をおこない、新訂10版に切り替えることを決定した。

分類法は、改訂の編集を開始した時点の世の中を切り取って、学問分野を基本的な概念の枠組みとして体系化しているものである。新訂 8 版から新訂10版までには36年の年月があり、図書館で使用していた新訂 8 版では2017年現在話題となっているトピックが扱われていることはほぼない。けれども、日常的に図書館の棚に加わる図書のほとんどは新刊図書である。つまり、最近まで36年前の枠組みに主題を置き換えていたことになり、例えば「ジェンダー」に関する図書には36年前の枠組みの該当箇所を推測しながら分類記号を付与していたのであった。比較として NDC で主に「ジェンダー」に関する主題を扱う箇所を見てみよう (367の箇所からの一部分抜粋である)。

この表からは、「女性」という主題に対する扱いが変更されたこと、「男性」という主題を扱うことができるようになったこと、「性問題、性教育」という主題を細分化することができるようになったことがわかる。「トランスジェンダー」に関する図書

| 分類記号 | 新訂10版 | 新訂 8 版 |
|-------|---------------------|----------------|
| 367 | 家族問題. 男性・女性問題. 老人問題 | 家庭・性問題 |
| 367.1 | 女性. 女性論 | (空) |
| 367.2 | 女性史・事情 | 婦人. 女性史. 各国の女性 |
| 367.5 | 男性. 男性論 | (空) |
| 367.9 | 性問題. 性教育 | 性問題. 性教育 |
| .93 | 性的いやがらせ | (空) |
| .97 | 同性愛: ホモセクシュアル. 両性愛 | |
| .98 | 性同一性 | |
| .99 | 性教育 | |

を例にすると、新訂 8 版では367.9という分類記号となり、書架では同じ分類記号の他の「性問題、性教育」に関する図書と混在している状態であり、その中から探し出さなければならない。それに対して、新訂10版では367.98という分類記号となり、書架のその分類記号の場所に「トランスジェンダー」に関する図書が集中する状態となる。分類記号を付与することにより書架ではその主題に関する図書が集まることになるのだが、主題の細分化など、改訂で扱える主題の数が増えることで書架では主題の位置が分類記号によりさらに個別化できるようになる (ただし「ジェンダー」を扱う図書の分類記号がすべて367.98となるわけではない)。

開架式の図書館では資料がどのように並ぶのが重要になる

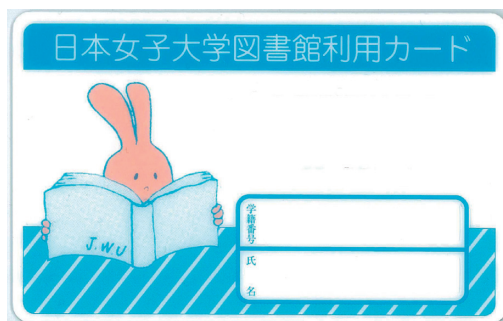
日本女子大学図書館は書架を「開架式」で運営し、利用者が棚に並んでいる資料を直接手に取ることができるようにしている。「開架式」においては書架に図書がどのように並んでいるかが重要である。蔵書を主題により区別し、主題に対して付与された分類記号に従って図書が配架され、図書館の中でその主題の場所が特定されることは、資料の検索からアプローチまでの手間と時間を軽減することにつながる。さらに、書架では同じ主題に対する歴史的経緯や賛否など多様な内容の図書を一覧することが可能となる。

このたび新訂10版の導入を決めたものの、実際に付与された図書はまだまだ少ない。また、同じ主題であっても導入前後で異なる分類記号であるため、書架では同じ主題の図書が分散する状態である。図書館としては、今後新刊図書を扱いながらも分散する状態を徐々に解消するよう努めている。(館員・整理係)

うさぎに託した想い

原田 百合枝

創立120周年のキャンパス統合に向けて、新図書館の構想が進み、現図書館は取り壊されると聞いた。学生として大学図書館司書として、現図書館には言い尽くせないほどの思い出があり、何とか残していただけないものかと寂しい気持ちでいっぱいだ。ただ、図書館が大学の心臓部であるという創設以来の変わらぬ基本理念の下、今の時代にふさわしい図書館として生まれ変わる姿を見るのは楽しみに思う。



さて、現図書館の中で道案内をしているうさぎがいる。知の宝庫にふさわしくないと感じる方もいらっしゃるだろうが、ゆるキャラの時代にこんなところにも…とほっこりとしていただければ、生みの親として嬉しい限りである。うさぎが初めて登場したのは、もう30年以上も前の『図書館のしおり』だった。図書館の利用案内を、学生の利用をより促すものにしたという事務主任のお考えから、新しい『図書館のしおり』作りが始まった。全開架式の大学図書館は当時まだ稀だったが、その恵まれた環境を生かし、膨大な資料の中から必要とする文献を探すには、学生に利用のしかたを十分に知ってもらい、探す力を身に付けてもらうことが必要だ。それをどう伝えるか悩んでいた時、イラストで表現してみようかというヒントをいただき、うさぎが誕生した。

この年から数年間、『図書館のしおり』の中で、うさぎは利用者として様々な体験をする。例えば、当時の検索手段である目録カードで資料を探したり、コピーをしたり、目的の本を見つけて喜んだり図書館を活用している学生となって登場する。身近な図書館、信頼できる図書館というイメージを学生が感じ、頻繁に足を運べる居心地のいい場所となってくれたら…という思いから、図書館の案内役をしてもらった。



1988年から1997年までは、新生に配布される『学園案内』にも登場している。図書館の正面玄関に刻まれている「VERITAS VIA VITAE」の文字に関心をもったうさぎが図書館で文献を繙く内、その言葉の意味を知る。学生時代にはあまり気に留めなかった言葉だったが、職員になりその意味深さを、学生にもぜひ心に留めてほしいと願って描いた。当時の『図書館のしおり』の表紙で、うさぎが「VERITAS VIA VITAE」の看板を背負っているのも、図書館とは、単に学問・研究のためだけの施設ではなく、

本と向き合う時間の中で視野を広げ自由に発想し、生涯を通して大切に思える何かに出合える場所であるということ、学生に伝えたいという自分なりの考えからである。果たして、うさぎに託した想いは、当時の学生に伝わったのだろうか…。

大学図書館でイラストを用いるなど稚拙な表現と言われかねない時代に、素人のカットを使ってくださった当時の事務主任上村美紗子さん、共にしおり作成に多大な時間を割いてくださった吉田典子さんには心から感謝している。また、今も利用カードやコピーカード等で使用して下さっている図書館員の皆様に、うさぎを託してよかったと心からお礼を申し上げたい。

(元館員)

新図書館棟新築工事 起工式催行される

10月5日（木）11時より、秋晴れの中、新図書館棟の起工式が建設予定地にて行われました。神職による祝詞奏上の後、設計を担当する妹島和世氏、蟻川芳子理事長代行、施工会社である清水建設株式会社の石水功一氏による地鎮之儀が行なわれ、工事の安全が祈願されました。

起工式に引き続き行われた直会式の会場には、模型や館内の予想図も展示され、参列者の注目をあつめていました。

新しい図書館は地下1階、地上4階建てで、創立120周年を記念して行われるキャンパス統合に先駆け、2019年1月に完成、同4月に利用を開始する予定です。



蟻川理事長代行による鍬入れ（撮影：広報課）



直会式で挨拶する白杵図書館長

図書館今昔物語 その1 2階カウンター

浜口 都紀

右の写真を見ていただきたい。1972年3月の図書館（目白）2階カウンターの様子である。奥には玄関ホールが何え、現在のカウンターと位置はかわっていない。しかし、手前に立つ人に比して、カウンターの高さが現在とは大きく違っているのがお分かりいただけるだろうか。

図書館にコンピュータシステム（JWULIS）が導入されたのは1989年の10月、それ以前は図書一点一点に付与されたブックカードと、カウンターでファイルされている個人カードに、利用者が必要事項を記入するという手続きを経て貸し出しが行われていた。複数の図書を借り出す際などは少々面倒な思いがしたものが、カードへの記入が行いやすいよう、カウンターは高めになっていたのである。カウンター内の館員は、背の高い椅子に座って利用者に対応していた。

取り壊しが決まっている現図書館は、1964年に開館した。設置当初は、図書の管理や貸出・返却がコンピュータ化されるなどは想像もつかなかったはずである。それでも、カウンターの仕様を変え、カード目録を検索用端末に置き換えながら50年以上役目を果たしてきた。

建築が始まる新図書館も、現在は想像できない大きな変革に対応していくことになるのだろう。これから先、どのような変化が待っているのだろうか。（図書館課長）



協定大学図書館訪問記 その4 跡見学園女子大学新座図書館

吉原 三紀子

読まなくてはならない図書が貸出中で真っ青になったことがある方へ、朗報です。予約して待つけれどもできるだけすぐに見たい、ちょっと足を運ぶのは厭わない、そんなときには日本女子大学図書館ホームページから「協定校利用案内」をクリックしてみてください。紹介状の手続きなしで利用できる大学図書館が複数あります。今回は、跡見学園女子大学（新座キャンパス）の図書館に行ってきました。

新座キャンパスはJR武蔵野線の新座駅北口から大学バスで7分ほど。大学バスの運転手さんに日本女子大学の学生証または教職員証を提示し、「協定利用で図書館に行きます」と伝えれば無料で乗車できます。バスを降りてキャンパス内の大きなヤマザクラの並木道を歩けば、とんがり帽子のような建物（キャノピー）がすぐに目に入ります。そこが目指す図書館の入口です。

初めて訪れる図書館を前に勇気をだしてゲートの呼び鈴をリン、と鳴らし、日本女子大学の教職員証を提示してゲートを開けていただきました。事前に調べた跡見学園女子大学図書館OPACには[N] 3F和書と階数表示があるので、図書館内をすぐさま探すことができます。迷ったらサービスカウンターや学生の図書館ボランティアが助けてくれます。利用が終わった図書は書架の脇にある返本台へ置きました。

その後、図書館内をあちこち見て回りました。跡見学園女子大学図書館とえば「百人一首」です。毎年コレクションを増やしているとのこと、展示室は必見です。図書館報『CANOPY（キャノピー）』では、文学部に限らない学生が百人一首から自分の好きな歌を紹介しています。人生の傍らに置く大切な一首を、大学図書館という場で手に入れた笑顔が並んでいました。

サービスカウンター前にはブックハンティング本（学生が書店でセレクト）がズラリ。ある一冊を、日本女子大学西生田図書館の「学生が読みたい本」で希望がだされるものと似たようなタイトルだな、と手に取ってみました。日の光が明るく差す部屋を背景に30代くらいの女性が家事をしている姿を写真で見せ、シンプルな暮らし、として紹介しています。しばらく眺めていると、ものがほとんどない部屋やごく省力化された家事のその向こうに、2017年の大学生の忙しさが透けて見えるようでした。授業やサークルや卒論はもちろん、フィールドワーク、海外研修、地域との交流、学内協働、インターンシップ、就活などなど。アクティビティたくさんで多忙な学生生活のなか、静謐な暮らしに憧れる女子大学生の姿が、ここにもありました。

思わず長居をしてしまい、図書館帰りの心地よい疲れがありました。キャンパスの停留所で新座駅行きの大学バスを待ちながら、東武東上線の志木駅行き路線バスも行き交うのを、ぼんやりと眺めていました。
(館員・西生田図書館)

跡見学園女子大学図書館について

「百人一首」の研究をする方は、協定大学図書館である跡見学園女子大学図書館を利用していると思います。百人一首研究以外にも日本文学、美学美術史、文化マネジメント、観光、など人文社会科学系全般をお探しなら跡見学園女子大学図書館のOPACを検索してみてくださいはいかがでしょうか。

本学同様キャンパスが2つあるので、OPAC検索結果では配架場所の[N]新座図書館（埼玉県新座市）、[M]茗荷谷図書館（東京都文京区）の区別は必ずチェックです。協定により、いずれの図書館でも閲覧と複写ができます。また、他キャンパスの所蔵資料を取り寄せて閲覧することもできます。利用の際には他の協定大学図書館と同様に、本学の学生証（または教職員証）をお忘れなく。

2016（平成28）年度上代タノ平和文庫購入資料紹介

「上代タノ平和文庫」は、本学の第6代学長上代タノ先生が、創立70周年を記念して1971年に寄贈された846冊の図書により創設され、その後も先生のご遺志を継いで継続収集が続けられている。2013年度より、運営は図書館友の会から図書館に引き継がれ、「女性が、国際平和についての問題意識を明確に持ち、平和への推進力となることを念願し」て誕生した文庫にふさわしく、歴史学、社会学、文学等幅広い分野に渡る選書が続けられている。

昨年年度中、新たに購入された図書の一覧をここに掲載する。文庫は図書館（目白）5階にあり、一部を除き貸出もできる。ぜひ実際に足をお運びいただき、文庫の全貌に親しんでいただきたい。

| 請求記号 | 資料情報 |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 I333.8 Kok | 国際協力：その新しい潮流 / 下村恭民 [ほか] 著. -- 第3版. -- 有斐閣, 2016. -- (有斐閣選書; [207]). |
| 2 I210.75 Sen | 千の証言：あの戦争を人々はどう生きたのか / 毎日新聞「千の証言」取材班著. -- 毎日新聞出版, 2016. |
| 3 I329.36 Fox | 国境なき医師団：終わらなき挑戦、希望への意志 / レネー・C・フォックス [著]; 坂川雅子訳. -- みすず書房, 2016. |
| 4 R I319.8 Hei | 平和と安全保障を考える事典 / 広島市立大学広島平和研究所編. -- 法律文化社, 2016. |
| 5 I319.8 Sen | 戦争をしないための8つのレッスン：二十一世紀平和学の課題 / 高原孝生編. -- 晃洋書房, 2016. |
| 6 I916 She | 戦争を怖む人びと / シャーウィン裕子著. -- 高文研, 2016. |
| 7 I219.9 Oki | 沖縄戦全記録 / NHKスペシャル取材班著. -- 新日本出版社, 2016. -- (NHKスペシャル). |
| 8 I319.8 Wat | わたしの「平和と戦争」：永遠平和のためのメッセージ / 広岩近広編. -- 集英社, 2016. |
| 9 I391.1 Maj | 正しい戦争はあるのか?：戦争倫理学入門 / 眞嶋俊造著. -- 大隈書店, 2016. |
| 10 I319.8 Ish | 基地で平和はつくれない：石川文洋の見た辺野古 / 石川文洋著. -- 新日本出版社, 2016. |
| 11 I319.8 Hir | ヒロシマに来た大統領：「核の現実」とオバマの理想 / 朝日新聞取材班著. -- 筑摩書房, 2016. |
| 12 I319.8 Yam | 教養としての戦後「平和論」 / 山本昭宏著. -- イースト・プレス, 2016. |
| 13 I319.8 Shi | 平和は「退屈」ですか：元めいゆり学徒と若者たちの五〇〇日 / 下嶋哲朗著. -- 岩波書店, 2015. -- (岩波現代文庫; 社会; 286). |
| 14 I559.7 Ser | 平和、戦争と平和：先端核科学者の回顧録 / Robert Serber 著; Robert P. Crease 編; 今野廣一訳. -- 丸善ブラネット, 2016. |
| 15 I209.7 Ish | 昭和8年：戦争への足音 / 石黒敬章著. -- KADOKAWA, 2016. |
| 16 I319.04 Hen | 変容する地球社会と平和への課題 / 西海真樹, 都留康子編著. -- 中央大学出版部, 2016. -- (研究叢書 / 中央大学社会科学研究所編; 32). |
| 17 I309.02 I Sen | 戦後思想の光と影：日仏会館、戦後70年記念シンポジウムの記録 / 三浦信孝編. -- 風行社, 2016. |
| 18 I319.8 Asa | 戦争をする国・しない国：ふくしの思想と福死の国策 / 浅井春夫著. -- 新日本出版社, 2016. |
| 19 I334.453 Yos | 太平洋戦争と日系アメリカ人の軌跡：日米関係史を考える / 吉浜精一郎著. -- 美書房出版, 2016. |
| 20 I219.9 Mor | 沖縄戦：最後の証言：おじい、おばあが米軍基地建設に抵抗する理由 / 森住卓著. -- 新日本出版社, 2016. |
| 21 I210.75 Hot | 1941決意なき開戦：現代日本の起源 / 堀田江理著. -- 人文書院, 2016. |
| 22 I289.1 Nit | 新渡戸福造と歩んだ道 / 佐藤弘著. -- 教文館, 2016. |
| 23 I319.1 Mag | 21世紀の戦争と平和：きみが知るべき日米関係の真実 / 孫崎享著. -- 徳間書店, 2016. |
| 24 I368.4 Yag | 結婚したから見られる戦争：イラク、ネパール、タイ、中国、韓国 / 八木澤高明著. -- KADOKAWA, 2016. |
| 25 Bib 028.09 Ash | 明日(あした)の平和をさがす本：戦争と平和を考える絵本からYAまで300 / 宇野和美 [ほか] 編著. -- 岩崎書店, 2016. |
| 26 I210.75 Mor | 原爆で死んだ米兵秘史 / 森重昭著. -- 改訂版. -- 潮書房光人社, 2016. |
| 27 I369.37 Nag | ヒロシマを伝える：詩人・四國五郎と原爆の表現者たち / 永田浩三著. -- WAVE 出版, 2016. |
| 28 I395 Shi | 女性記者が見る基地・沖縄：隠さない沖縄の「心」を見つめて / 島洋子著. -- 高文研, 2016. |
| 29 I219.9 Kaw | 沖縄：憲法の及ばぬ島で：記者たちは何をどう伝えたいか / 川端俊一著. -- 高文研, 2016. |
| 30 I319.122 Hig | 東アジアと解への道：歴史問題から地域安全保障へ / 天見慧, 李鍾元編. -- 岩波書店, 2016. |
| 31 I539.091 Kak | 核の世紀：日本原子力開発史 / 小路泰直 [ほか] 編. -- 東京堂出版, 2016. |
| 32 I319.8 Sen | 戦争への終止符：未来のための日本の記憶 / グレン・D・フック, 桜井智恵子編. -- 法律文化社, 2016. |
| 33 I369.31 Aasa | みやぎ3・11「人間の復興」を担う女性たち：戦後史に探る力の源泉 / 浅野富美枝著. -- 生活思想社, 2016. |
| 34 I210.75 Sen | 戦争の記憶をつなぐ：十三の物語 / 松野良一編著. -- 中央大学出版部, 2016. |
| 35 I210.65 Kaw | 日清戦争は義戦にあらず：秩父因民党から軍夫へ / 河田宏著. -- 彩流社, 2016. |
| 36 I369.37 Hy | サハリン残留：日韓100年にわたる家族の物語 / 玄武岩, バイチャーズ・スヴェトラナ著; 後藤悠樹写真. -- 高文研, 2016. |
| 37 I914.6 Sen | 戦争とは何ぞとグリンピース：婦人の新聞投稿欄「紅血」集 / 西日本新聞社編. -- 西日本新聞社, 2016. |
| 38 I319.8 Amp | 安保法制の正体：「この道」で日本は平和になるのか / 西日本新聞安保取材班編. -- 明石書店, 2016. |
| 39 I289.1 Kan | 15歳の被爆者：歴史を消さないために / 切通理作, 狩野美智子著. -- 彩流社, 2016. |
| 40 I916 Kan | あの夏、兵士だった私：96歳、戦争体験者からの覚書 / 金子兜太著. -- 清流出版, 2016. |

| 請求記号 | 資料情報 |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 41 I210.75 Ich | 戦艦大和講義：私たちにどう太平洋戦争とは何か / 一ノ瀬俊也著. -- 人文書院, 2015. |
| 42 I210.7 Sen | 戦後の地層：もう戦争はないと思っていました / 東京新聞「戦後の地層」取材班編. -- 現代思潮新社, 2016. |
| 43 I916 Kat | 語り継ぐ戦争の記憶：戦争のない平和な世界をめざして / 日本婦人権者同盟出版部編. -- 日本婦人権者同盟, 2015. |
| 44 I210.7 Han | 21世紀の戦争論：昭和史から考える / 半藤一利, 佐藤優著. -- 文藝春秋, 2016. -- (文春新書; 1072). |
| 45 I169.1 Osa | 世界「最終」戦争論：近代の終焉を超えて / 内田樹, 姜尚中著. -- 集英社, 2016. -- (集英社新書; 0836A). |
| 46 I210.75 Hos | 太平洋戦争を読み直す / 保阪正康著. -- PHP 研究所, 2016. -- (PHP 文庫; ほか4). |
| 47 I367.2 Hib | 被爆70年ジェンダー・フォーラム in 広島「全記録」：ヒロシマという視座の可能性をひらく. -- ひろしま女性学研究所, 2016. |
| 48 O.S. I210.75 Yas | 平和を考える戦争遺産図鑑 / 安島太佳由写真 / 著. -- 岩崎書店, 2015. |
| 49 I219.3 Bei | 米軍撮影長崎被爆地：被爆70周年に問う「戦争と平和」 / 長崎文庫社編. -- 長崎文庫社, 2015. |
| 50 I215.5 Ito | 学芸員と歩く愛知・名古屋の戦争遺跡 / 伊藤厚史著. -- 名古屋市教育委員会文化財保護室, 2016. |
| 51 I215.5 Och | 私たちの戦争：中京高女の学徒動員と熱田空襲 / 越智久美子著. -- 中日新聞社, 2016. |
| 52 I916 Tok | 少年たちの戦争 / 徳永徹著. -- 岩波書店, 2015. |
| 53 I704 Tan | 戦争と政治の時代を耐えた人びと：美術と音楽の戦後断想 / 田辺徹著. -- 藤原書店, 2016. |
| 54 I559 Dol | 21世紀の戦争テクノロジー：科学が変える未来の戦争 / エヴァレット・カル・ドゥルマン著; 桃井緑美子訳. -- 河出書房新社, 2016. |
| 55 I210.7 Hos | 日本人の「戦争観」を問う：昭和史からの遺言 / 保阪正康著. -- 山川出版社, 2016. |
| 56 I916 Has | ひとりの記憶：海に向こうの戦争と、生き抜いた人たち / 橋口謙二著. -- 文藝春秋, 2016. |
| 57 I916 Jos | 女性たちのヒロシマ：笑顔かがやく未来へ / 創価学会広島女性平和委員会編. -- 第三文明社, 2016. |
| 58 I319.8 Juh | 18歳からわかる平和と安全保障のえらび方 / 梶原涉 [ほか] 編. -- 太月書店, 2016. |
| 59 I366.8 Sae | 移住女性と人権：社会学的視座から / 佐伯芳子著. -- 尚学社, 2015. |
| 60 I395 Oki | 沖縄と海兵隊：駐留の歴史的展開 / 屋良朝博 [ほか] 著. -- 旬報社, 2016. |
| 61 I219.9 Hon | 沖縄戦場の記憶と「慰安所」 / 洪鐘伸著. -- インパクト出版会, 2016. |
| 62 I916 Gem | 原爆の惨禍：名著で読む広島・長崎の記憶 / 蜂谷道彦 [ほか] 著. -- 原書房, 2015. |
| 63 I319.8 Ish | 基地、平和、沖縄：元戦場カメラマンの視点 / 石川文洋著. -- 新日本出版社, 2016. |
| 64 I837.7 Weg | 英語で聞く世界を変えた女性のごとば：日英対訳 / ニーナ・ウェグナー著; 北村みちよ訳; 山久満洋二背景解説; 出水隆文英語解説. -- IBCパブリッシング, 2014. |
| 65 I289.1 Ich | 市川房枝：女性解放運動から社会変革へ：政治家・市民運動家「日本」 / 筑摩書房編集部著. -- 筑摩書房, 2015. -- (ちくま評伝シリーズ「ボルトレ」). |
| 66 I210.75 Hos | 太平洋戦争を考えるヒント / 保阪正康著. -- PHP 研究所, 2014. |
| 67 I319.153 Yab | 日本はなぜ、「戦争ができる国」になったのか / 矢部宏治著. -- 集英社インターナショナル, 2016. |
| 68 I334.422 Kur | 戦争と日本人：日中戦争下の在留日本人の生活 / 倉橋直直著. -- 共栄書房, 2015. |
| 69 I210.75 Shi | シベリア留置関係資料集 / 富田武, 長勢了治編. -- みすず書房, 2017. |

平成29年度夏期スクーリング開館について

今年の夏期スクーリング開館は8月7日(月)～9月2日(土)の4週間で例年同様に24日間、開館時間は<月～金>8:45～20:00、<土>8:45～18:00であり、スクーリングの授業時間延長に伴い、今年度より月～金は1時間延長となりました。

また、2階情報検索コーナーのJASMINE端末9台からは2階複写機にもプリントアウトできるようになり、正科生は、従来の証紙払いに加え、コピーカードまたは現金での支払いが可能になりました。

今年の利用状況は左下の表のとおり。受講者数自体は減少傾向ですが、図書館入館者数と貸出冊数は増加しました。夏期スクーリング期間に、一般図書のリクエスト貸出5冊に加え、通信教育図書室(図目通信)の図書2冊を7日間借りることができるようになりました。また、通常期と同様にMy JWULISへログインし、利用状況の確認、



夏期スクーリング時の通信教育図書室風景

貸出更新、貸出中図書予約、目白・西生田間図書館所蔵図書取り寄せ等ができるようになり、このシステムも浸透してきたようです。また、開設2周年を迎える「泉ラーニング・スペース(目白)」のラーニング・サポーターへの学修相談、モバイルプリンター(貸出機器)の利用等、積極的に施設を使う受講生の姿も見られました。

通常期には資料の探し方講習会を随時受け付けていますので、来館可能な方には受講をお勧めします。図書館ホームページも学修・研究の準備に活用し、実りある学生生活を送っていただきたいと願っております。(館員・閲覧係 中澤恵子)

夏期スクーリング開館の利用状況

| 年度 | H29 | H28 | H27 |
|----------------|-------|-------|--------|
| 開館日数 | 24 | 24 | 24 |
| 入館者数 | 3,913 | 3,675 | 4,719 |
| 1日平均 | 163.1 | 153.2 | 196.7 |
| 最高 | 247 | 265 | 676 |
| 最低 | 120 | 75 | 123 |
| 受講者数 | 708 | 744 | 769 |
| 登録者数 | 86 | 93 | 101 |
| 1日平均 | 3.6 | 3.9 | 4.2 |
| 更新者数 | 139 | 178 | 247 |
| 来館率 | 31.8 | 36.5 | 32.2 |
| 貸出冊数 | 1,005 | 972 | 1,140 |
| 1人当たり | | | |
| 1日平均 | 41.9 | 40.5 | 47.5 |
| 最高 | 78 | 65 | 93 |
| 最低 | 15 | 19 | 23 |
| 貸出日数 | 24 | 24 | 24 |
| 複写枚数 | 7,056 | 7,628 | 10,774 |
| 1日平均 | 294 | 317.9 | 449 |
| 一般学生・教職員その他の貸出 | 1,177 | 1,243 | 1,671 |
| 1日平均 | 49.1 | 51.8 | 69.7 |

参考係利用状況(質問処理件数)

| 年度(日数) | H29(24) | H28(24) | H27(24) |
|-------------|---------|---------|---------|
| 一般学生・教職員 | 27 | 49 | 35 |
| スクーリング生・その他 | 11 | 31 | 38 |
| 合計 | 38 | 80 | 73 |
| 1日平均 | 1.6 | 3.3 | 3 |

編集後記 いよいよ新図書館の建設が始まった。図書館だよりでも引き続き、完成に向けた動きをお知らせしていく予定である。平田先生の著作と連動する成瀬記念館の展示「日本女子大学の災害支援」は、12月20日まで行なわれている。

図書館だより編集委員(2017年7月～): 浜口都紀, 水嶋寿恵, 吉原三紀子